

## 福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 25 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 3 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

### 記

1 日 時 平成 25 年 11 月 13 日（水） 13:30 ～ 15:30

2 場 所 県庁 3 階 第 3 委員会室

3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

#### 4 議事次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・入札および契約に係る制度の運用について
- ・抽出事案審議
- ・談合その他の不正行為に関する事項について

(3) その他

(4) 閉会

#### 5 会議概要

(1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 25 年 7 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

- ・契約件数、落札率の状況について説明
- ・指名停止の運用状況について説明
- ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 指名停止の運用状況について、指名停止理由となった確認できない自社保有の建設機械とは、具体的にはどのような機械か。

A ほ装工事においてアスファルトなどの締固めを行うマカダムローラーである。

Q 総合評価落札方式の実施状況について、工事成績の平均点に加え、成績点数の分布（バラつき）状況を分析するとより優位性が見えてくるのではないか。

A どのようなバラつき状況となっているのか確認したい。

(2) 抽出事案審議（事前に藤井委員が抽出）

ア 流域治水対策河川工事（社会資本整備総合交付金）・道路改良工事（社会資本整備総合交付金）合併工事

Q 入札価格順位 3 位の者が総合評価により逆転して落札しているが、自社の技術評価点が高い業者は他社の技術評価点を予想して高い入札金額を入れてくるのか。

A 配置する予定の技術者などにより評価点が変わるため他社の入札金額を推測することは難しいと思われるが、自社の技術評価点の加算が高いと見込む業者は、ある程度は高い価格を入れても総合評価で逆転できると考えているところもあるようだ。

イ 雪寒地域道路（消雪）修繕工事（防災・安全交付金）

Q 設計図書等の電子閲覧をしなかったため失格になった者があるが、事前に設計書や図面を見ずに入札することは著しく不誠実な行為にはあたらないのか。

A 入札を遅滞させるものではないので、指名停止等の対象となる不誠実な行為とはしていない。

ウ 平成24年度復旧治山工事（火山）（補正）

Q 入札参加資格では1級または2級の該当資格を持つ技術者を配置することとしているが、総合評価の技術評価点としては1級の技術者を配置する場合に加点評価しているのか。

A そうである。なお、総合評価の技術評価点は資格と施工経験の両方を評価しており、2級の技術者であっても同種工事の施工実績がある場合は評価している。

エ 平成25年度中山間地域総合整備事業（一般型）河和田地区第2号工事

Q 最低制限価格の算定は、業者が計算した直接工事費や共通仮設費などの金額を元に計算するのか。

A 県の設計額を元に算定する。

Q 入札参加資格としては装機械を保有することとしているが、保有していることをどのように確認しているのか。

A 県職員が現場へ行って確認している。

オ 交通管制センター映像表示装置更新工事

Q 閲覧者数はどのくらいあったか。

A 7社である。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

・期間中に談合情報等が4件あり、談合の事実があったとは認められなかったと報告

Q すでに辞退していた落札予定者の辞退理由は何か。

A 当該工事に技術者を配置できなかったためと聞いている。

(4) その他

今年度の委員会において取り組んでいる入札契約制度の検討のため、本県における入札制度の検討課題について事務局より説明。

第3回目となる今回は、本県における入札契約制度に関する検討課題について、災害復旧など地域防災力の維持や、技術者・技能労働者の確保・育成、工事品質の確保、適正な価格による契約の推進といった観点から検討。

委員から、事務局の説明内容は全体的に建設業の課題をとらえてよくまとめられており、今後、委員会として具体的な制度について検討したいとの意見あり。また、建設業者数が減少しており災害復旧などに支障が出ているのではないかと思われるので、事業者数の推移を教えてほしいとの要望あり。